

第 41 回NHK杯カーリング選手権大会
新型コロナウイルス感染症対策

- ① 大会 1 週間前からの健康チェック表の記入と受付時に提出。
- ② 参加者（チームスタッフを含む）は北海道コロナ通知システムや接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを促す。
- ③ カーリングホール入館時の手指消毒・検温・血中酸素濃度の測定。
※血中酸素濃度の目安は正常値 98 から 99、95 以下は肺疾患の可能性、90 以下は酸素吸入が必要となる。持病のための低下以外は 95 以下で出場を辞退してもらう。
- ④ 大会全日程を無観客試合とする。
- ⑤ 出場選手は入館から試合が始まるまで、試合が終了してから退館するまで。マスクの着用を義務付ける。試合中はマスクやマウスシールド着用を義務付けない。
- ⑥ NHKを除くマスコミの出入りを禁止する。（カーリングホールとスポーツセンター）
- ⑦ 各試合の出場チームは試合開始 30 分前から検温などを実施し、2 階観覧席まで移動する。観覧席ではソーシャルディスタンスを保つこと。
- ⑧ 試合開始のアナウンスで観覧席から移動し、競技ホールに入場して試合を開始する。
- ⑨ 試合開始前と終了後には、各チームは必ずチームが使用するストーンのハンドルを備え付けの消毒液を付けたペーパータオルで、消毒する。（清掃用のモップも同様）
- ⑩ スコアを表示する場合、その都度必ず消毒した手またはグローブで表示する。
- ⑪ 鼻水・唾液の付いた個人のごみは、必ず持ち帰ること。
- ⑫ 試合終了後は、ロビーや 2 階観覧席に留まらず、速やかに退館する。
- ⑬ 試合前のアップや食事・試合後のミーティングについてはスポーツセンターのアリーナやロビーを使用すること。待機場所ではソーシャルディスタンスを保つこと。
- ⑭ 2 階観覧席での水分補給以外の飲食は禁止する。
- ⑮ スポーツセンターでは極力マスクの着用と他のチームとの距離を保つこと。
- ⑯ 試合の無いチームは 3 密を避けるため、他のチームの試合を観覧することはできない。
- ⑰ 感染予防のためブラシや荷物を預けることができない。その都度、持参してもらう。
- ⑱ 大会中を含め、大会までの期間で感染拡大が広がり、全道および全国的に何らかの制限が出された場合、大会を中止することがある。
- ⑲ 出場選手及び大会スタッフは大会期間中、試合以外は受付時に配布したネームタグを付けること。
- ⑳ カーリングホールの更衣室は使用できない。（ただし更衣室内のロッカーを使っている選手は除く）更衣室を使用したい選手はスポーツセンターの更衣室を開放する。なるべく更衣室を使わないよう促す。